

「プルサーマルシンポジウム2010」参加者からの質問等

1 プルサーマルシンポジウムの運営について (17件)		
番号	質 問	受付
1-1	基調講演及びシンポジウム出席者の人選が“プルサーマル安全論者”に偏っているため、参加者が正しい判断を下すことができず“プルサーマル容認”に誘導します。民主主義の基本はまず国民に公正な情報を提示し、国民がその情報に基づき、国民である県民が主体となって判断できることです。原発の危険を高めるだけの“プルサーマル発電”を県民に押しつけるのは大いにまちがっています。“国策に、協力する県政の姿勢が大いによろしくありません！正しなさい！	事前
1-2	今回のシンポは推進者達が一方向的に説明してましたが、会場参会者が挙手をした人から直接様々な疑問、問題点に関して答える形式にすべきでした。独裁的だった。原発容認派人間の道徳性、倫理観の欠如を示す。	会場
1-3	何故、反対の立場の方のパネリストがいなかったのか？	会場
1-4	基本的にプルサーマルありき。実施するという方針に則してシンポジウムを開催されているように思いました。未来がどのような形になってゆくのか気になるところです。	会場
1-5	会場内での質疑応答があっても良かったかなと思う。	会場
1-6	質疑応答の時間を設けてほしかった。	会場
1-7	電力会社の社員さんの話も聞きたかったと思います。	会場
1-8	時間通りに終わってほしい。	会場
1-9	主婦の参加です。出来れば定時終了を守っていただきたい。	会場
1-10	シンポジウム時間オーバーでしたので、企画時に時間設定をしっかりとしてほしい。	会場
1-11	帰りの電車の時刻表を添付してもらえるとありがたいです。今回みたいにのびた時のためにも。	会場
1-12	昼食後のシンポジウム、人間眠くなる時間に行うのはいかがなものか。時間の配慮が必要では？	会場
1-13	講師の話及び、質問の回答に対して最後にまとめがあったが、これは不要であると思った。	会場
1-14	ペンライトの光が見えなかった。もっと光度を強くすべき。	会場
1-15	ウラン燃料とMOX燃料の違いの部分が今回あまり無かったと思います。この点は次の機会でしょうか？時間はやはり多少不足でしたが、内容があり、ていねいな説明の為仕方ないかと思われました。素朴な疑問に対してはもっと細かく会場を増やして各地ででしょうか。	会場
1-16	小学生や子供でも分かるような、説明の仕方でないと一般の人には理解しづらいと思う。高校や大学の授業を聞いているみたいで眠くなりました。	会場
1-17	アンケートの9は、なぜ8の1、2に対してだけなのか。	会場

2 MOX燃料について (13件)		
番号	質問	受付
2-1	プルサーマルで使用されたMOX燃料は、まだ使用できるプルトニウムやウランが含まれていると思いますが、使用後の再処理計画はどうなっていますか。	事前
2-2	使い終わったMOX燃料の処理方法はどのようになるのでしょうか？今年度(2010年)から検討に入るような説明があったように記憶していますが？	事前
2-3	ウランの有効活用の観点から、プルサーマルを実施するのは資源の無い日本にとって大切なことだと思います。ただし、いずれ使い終わった燃料の処理の問題があるかと思いますが、その方法はどこまで進んでいるのでしょうか？	事前
2-4	MOX燃料の使用済み燃料は再び青森県の六ヶ所村にて再処理されるのですか。またそれは現在の再処理工場で処理できるのですか。それとも新たに再処理工場をつくるのですか。	事前
2-5	使用済みMOX燃料の再処理に関わる検討は、どの程度進捗しているのか、あるいは今後の検討の進め方・予定などあれば教えていただきたい。	事前
2-6	使い終わったMOX燃料の処理方策は、2010年頃から検討が開始されるとしていたが、2010年も過ぎようとしている現在の検討状況を教えてほしい。	事前
2-7	使用済みMOX燃料の、女川原発サイトへの保管には、大きな不安を感じています。	事前
2-8	使用済みMOX燃料の行方？	会場
2-9	使用済みMOX燃料の行き場がないことに不安。	会場
2-10	海外におけるMOX燃料の使用実績を見ると増やしている国もあれば減らしている国もあるのはなぜなのでしょう。	事前
2-11	プルサーマルは資源の少ない日本にとって必要不可欠の燃料のサイクルだと考えている。輸入MOX燃料体に関する検査の仕組みについて説明してほしい。	事前
2-12	製造するMOX燃料の原料となるプルトニウムとウランはどこから調達するのか。	事前
2-13	日本原燃株のMOX工場建設に係る国の許可が出たことは原子燃料サイクルの国産化を進める上で明るい材料である。使用済み燃料再処理工場の営業運転は2年遅れとなったが安全優先の立場から理解する。今後は慎重にも慎重を重ね改修工事を行ない、日本の原子力産業発展のために、国産化の素晴らしい原子力産業技術を構築して欲しい。そこで日本原燃株MOX工場の特徴的な点は何か教えて下さい。	事前

3 広報広聴活動について（12件）

番号	質問	受付
3-1	今後も定期的に、国や自治体による安心のための説明会が必要。→国業、客観性の確保の観点から。	会場
3-2	今後もこのような勉強になる会を定期的実施してほしい。	会場
3-3	計画と実施までに期間が空くので、継続的なリアルタイムな情報提供と理解活動が必要と思います。	会場
3-4	今後も情報提供により、住民の理解を得る努力をお願いします。	会場
3-5	最新情報は新聞広告、県、町、広報誌で行う。	会場
3-6	数多くの県民の理解を得るため、県の広報誌と一緒に特集を配布することや、新聞に多くの質問、意見に対する回答を頻繁に掲載した方が良くと思います。	会場
3-7	プルサーマルの安全性についてのPRを今後どのような形で進めていかれるのか具体的かつわかり易くご説明して頂ければ幸いです。	事前
3-8	使用済み燃料の再利用によるプルサーマルについては燃料サイクル、環境保全の意味からも有意義と考えるが、使用済みMOX燃料の将来像について国は2010から検討を開始すると言っているが、現在何の情報発信や報道もない。国として進めているプルサーマル計画でもあることからしっかりとした情報発信を望む。	事前
3-9	電力はもっときめ細やかな対策（戸別訪問）などを行うべき。→対面方式で客観性確保は無理。	会場
3-10	東北電力はプルサーマル計画の進行状況を適宜住民に提供していただきたい。	会場
3-11	もっと住民に対して安全性の理解を深めると良い。国、事業者が前面に出て理解を得ることを推進してもらいたい。	会場
3-12	東北電力のPR活動（見学会）人数回数等も示し、取り組みのPRをしたらどうか。今後の取り組みについても、もっとわかりやすい意味のある内容で。	会場

4 原子力一般（11件）

番号	質問	受付
4-1	原子力発電の環境に対する優位性は新聞・テレビ等の情報から理解しているが、さらにプルサーマルを行うことでの環境コスト等の優位性を説明してほしい。	事前
4-2	国は「原子力は地球温暖化対策の切り札」と位置づけて増設を打ち出しています。一方で「温暖化対策は、原子力ではなく再生可能エネルギーで対応すればよいのではないか」という意見も聞きます。温暖化対策としての原子力の優位性について、コストや実現可能性の観点から、分かりやすく説明してください。特に、我々の負担コストが気になります。よろしくお願いします。	事前
4-3	CO ₂ 対策と云うが東北電力の資力なら新エネルギー分野の開拓のほうが子孫にツケを回さないのではないかと。	会場
4-4	高経年化で劣化した原発の運転の危うさ。	会場
4-5	高経年化に不安。	会場
4-6	ひび割れ配管などの継続使用への懸念。	会場
4-7	プルサーマルは、コスト面、環境面だけの優位性だけではなく、日本の原子力の技術力のすばらしこと。新潟県中越地震時柏崎・刈羽の運転制御が出来た技術力を説明してほしい。また、ベトナムに原子力を売り込めた事例を紹介してほしい。	事前
4-8	いろんな事例が発生している。まだまだ核について研究すべし。安全、安心に相互理解から必要性ありと思う。これからはっきり管理し、不安を取り除いて欲しい。	会場
4-9	廃炉にした場合の処理問題（莫大な経費）及び核のゴミ処理方法。	会場
4-10	廃炉問題に不安。	会場
4-11	地震の揺れが想定内でおさまるとは限らないので、大変不安である。	会場

5 核燃料サイクル（9件）		
番号	質問	受付
5-1	再処理工場や中間貯蔵所の運用は、プルサーマル運転に追いついて行けますか？	事前
5-2	アメリカが再処理政策を進めることによって、日本の再処理工場が不要になる等の影響はないのか。	事前
5-3	再処理工場の稼働延期、最終処分場の候補地の未決定など、まだまだ過大が多いと感じた。	会場
5-4	安全に進めてほしい。使用済み燃料の最終処分を速く決定していただきたい。	会場
5-5	放射性廃棄物の最終処分地がまだ決まっていないようですが、早めの対応が必要かと思われます。使用済み燃料の処分に大変苦慮していると感じられます。特に高レベル放射性廃棄物に関しては、「地層処分を検討している」とのいいぶりですが、結果的には「ウラン鉱物」を取り出した元の深い地層に戻すということではないでしょうか。	事前
5-6	高レベル廃棄物の処分についてはNUMO主体にテレビCMやキャンペーンを積極的に懸命に行っているが、最終処分地選定の進展状況はどうか。	事前
5-7	放射性廃棄物の処理に向けた国内外の動きについて情報が得られれば幸いです。	事前
5-8	ウラン燃料のリサイクルは、資源の有効活用の観点、エネルギーの安定供給の観点から重要な施策と認識しています。資源の節約効果はどのくらいなのかわかりやすく教えていただきますようお願いします。	事前
5-9	プルサーマルは、小資源国である日本にとって重要な施策だと考えるが、全国の発電所で実施した場合、どの程度の少資源化につながるのか。	事前

6 東北電力株式会社の取り組み（8件）		
番号	質問	受付
6-1	今年3月に自治体の事前了解を得たが、2015年までの実施期間にどのような取組みを東北電力が行っていくのか、また東北電力が原子力の安全・安心を確保するために日々どのような取組みを行っているのか大変興味があり、参加申込みすることにしました。	事前
6-2	プルサーマルを導入した発電は、九州電力等で既に実施されており、「MOX燃料」そのものの安全性や有効性については次第に実証されていくと思うが、これからになる東北電力が過去の事象に対してどのように体質が変わったのか、再発防止策について、現在どのように取り組んでいるのかをお聞きしたい。	事前
6-3	ゴメンなさい。非常に基本的な質問ですが・・・電気代はあがりますか？何かと設備投資はお金がかかりますよね。	会場
6-4	プルサーマル導入には電気料金の値上がりはありますか？	会場
6-5	3号機で運転開始し、成功例が出来た後、プルサーマル対応の4号機を造るか、経年化により使用を止める1号機や、2号機にプルサーマル転用の予定はありますか。	会場
6-6	現場の安全管理も大切ですが、手順書・図面等の資料管理についてはどのような管理をしていますか？	会場
6-7	万全な安全対策を行って進めてください。情報開示を徹底してお願いします。	会場
6-8	いつごろ運転が始まりますか。	会場

7 プルサーマルについて (6件)		
番号	質問	受付
7-1	昨年から既に九州電力、四国電力、東京電力でプルサーマルが開始されているが、その運転状況はどうか。当初想定していたことと違った点はあるのか。	事前
7-2	プルサーマル発電が東北より先行して始まった玄海や伊方の発電所の、今の状況について紹介してください。想定どおりの状態なのかなどについてお願いします。	事前
7-3	今回初めて参加したのですが、現在稼働中の号機とプルサーマル使用の3号機との違いはあるのか？具体的な事例が知りたかった。	会場
7-4	プルサーマル特有の性質、注意点。	会場
7-5	安全性に不安がある。	会場
7-6	(プルサーマルについて)国の関与はどのようにしていくのか。	事前

8 その他 (3件)		
番号	質問	受付
8-1	プルサーマルを導入することで、交付金が交付されると思うが、市・町にはどの位交付され、どのように地域活性化に活用するのか。	事前
8-2	プルサーマル受け入れに伴う国からの交付金は、いつどの位の額が、どのような割合(県・石巻・女川)でおられますか。	会場
8-3	一度、化学反応を起こしたものは、絶対に原子にもう戻る事はないのですか？	会場

【意見等】 (74件)		
番号	質問	受付
意-1	計画通り2015年に女川-3でプルサーマルを確実にやってほしい。安全第一で！おさらいをやったのはわかりやすかった。	会場
意-2	安全第一で推進を希望する。	会場
意-3	安全性に気をつけて推進していただきたい。	会場
意-4	安全第一であること	会場
意-5	安全に進めて下さい。	会場
意-6	安全最優先で進めてほしい。	会場
意-7	安全が第一。今後とも努力してください。2015年の導入に期待しています。	会場
意-8	安全の為に日々努力をお願いします。	会場
意-9	安全にプルサーマルを利用してもらいたい。	会場
意-10	安全確認に努め取り組んで下さい。	会場
意-11	安全確保を最優先にプルサーマルを進めてほしい。	会場
意-12	安全を最優先に進めていただきたい。	会場
意-13	事故のないように安全にお願い致します。今後女川町に住んでよかったと思うように！	会場
意-14	新聞報道を見ると、日本の原発に関しトラブル、故障が時々報じられてなれてることはない。プルサーマルにかかわらず原発に関しては、とにかく無事故で。	会場
意-15	安全第一で安心を与えて下さい。もう十分説明されているので、今後参加しない。	会場
意-16	将来にわたって資源やエネルギーを安定して確保するため、資源やエネルギーを可能な限り効率的に利用することは、私たちの責務であると思えます。私たちは子供たちの世代やその先の世代に対しても責任のある行動をとらなければなりません。そういう意味で、原子燃料をリサイクルして利用するプルサーマルは着実に推進していくべきだと思います。	事前

意-17	ウラン資源の有効利用による長期的なエネルギーの安定供給確保の観点から、プルサーマル発電を計画どおり推進してほしいと願っております。	事前
意-18	資源の少ない日本でエネルギーセキュリティを向上させるため、使用済燃料をリサイクルするプルサーマルを積極的に進めるべきである。	事前
意-19	プルサーマルは資源の少ない日本が将来的に生き残るためにも、そして地球環境のためにも必要なエネルギー源だと思います。そのためにも作業員は安全・安定運転に全身全霊を傾けて、安全神話を維持・構築をお願いしたい。	事前
意-20	資源の少ない我が国にとって省資源、リサイクルは国を挙げて推進すべき施策であり、原子力においても例外ではないと考えます。また、プルサーマルは諸外国や国内でも九州・四国・福島でも実施されており、女川でも実施すべきと考えます。	事前
意-21	資源の少ない我が国にとって省資源・リサイクルは国を挙げて取り組むべき施策であり、原子力においても例外ではないと考えます。また、プルサーマルは諸外国や国内でも九州・四国・福島でも実施されており、女川でも実施すべきと考えます。	事前
意-22	エネルギー資源は限りがあります。日本は、殆どを海外から輸入しておりますのでウラン燃料をリサイクルしてプルサーマルを推進することは大変有効な手段だと思います。	事前
意-23	今後の社会においては、少ない資源をリサイクルしながら資源を確保していくことが必要である。プルサーマルについても安全を維持し、石油の値段高騰等を回避するため、発電のため燃料資源の確保上重要なことである。	事前
意-24	資源の枯渇や環境問題を考えるとプルサーマルは必要だと思います。	事前
意-25	資源の有効利用のため、女川3号機のプルサーマル計画の円滑な推進を望む。	会場
意-26	2015年までにプルサーマルが行われていることを願っています。安全を第一に進めてもらえば、多くの住民から理解してもらえらると思います。次世代にも、今と同じように電気が使えるようにするためには、プルサーマル計画はとても重要だと思っています。限りある資源を有効に活用し、低炭素社会へ向けての取り組むためにも原子力発電は、とても重要なものだと思います。	会場
意-27	資源の乏しい日本にとってはやはりプルサーマルの導入は推し進めていく必要がある、今後の発電所の安定運転の実績がプルサーマルの信頼確保につながっていくと思う。また住民に対して、マスコミも過度な報道をやめ、トラブルの重要度を伝えて正しく理解してもらうように努める必要がある。	会場
意-28	資源の少ない日本はエネルギー確保のため、核燃料サイクルの確立は不可欠であり、その一方としてのプルサーマルは地元の理解を得ることを条件に推進すべきだと思います。	会場
意-29	十分に安全確認ができていると思うし、電流の安定供給と資源が少ないので早く実施してほしい。	会場
意-30	資源の少ない日本ではプルサーマル計画は絶対に必要である。	会場
意-31	プルサーマルは、資源を守る意味においても必要です。一部反対者は政治的な運動で全く今後の充実した生活を考えていない。残念。	事前
意-32	地球温暖化防止と資源の平和的有効利用を図るため、プルサーマルの推進に賛成します。	事前
意-33	低炭素社会の達成としてプルサーマルの役割に関心が高く、大槻先生がどのようなお話をされるのか大変興味深く期待しております。	事前
意-34	プルサーマルの推進はエネルギーセキュリティの点および地球温暖化対策の点で必要であると考えます。プルサーマルについて正しい知識をより多くの人が持つように、正確で理性的な知識に触れられる機会を今後も継続して提供してもらいたいと思います。	事前
意-35	わが国はエネルギー自給率は先進国のなかで最低であることから、エネルギーを有効に活用することが現在の私達の使命と考えます。そのためには原子力は必要なエネルギーと考える。	事前
意-36	エネルギー需給率がわずか4%という日本では、プルサーマルは必要と考える。	事前
意-37	日本のエネルギー事情を考慮した場合、プルサーマルは必要である。	事前
意-38	エネルギー推進の観点からプルサーマルを進めていただきたい。	事前
意-39	リサイクルという点でもプルサーマルは必要です	会場
意-40	燃料を再利用することが良い。無駄なごみを出さないでよい。	会場
意-41	プルサーマルは必要であるが、我々が常に他人事と思わず、確認が必要であると思う。会場が寒い	会場
意-42	山名教授の解説が非常に分かりやすかった。	会場
意-43	事前の質問に対するそれぞれの先生からのご説明が具体的で分かりやすかった。	会場
意-44	質問は今回の様な方法が良いと思います。非常に分かりやすい答えを聞けました。	会場
意-45	全体としてわかりやすく、非常に良かった。	会場
意-46	前回より分かりやすく説明があり、理解が得られました。	会場

意-47	説明が長すぎる。	会場
意-48	会場で質問を受けない方式は良い。	会場
意-49	主題としてのプルサーマルから焦点がやや外れていた印象を受けました。	会場
意-50	プルサーマルの必要性が分からなかった。	会場
意-51	プルサーマルに関することもちろんであるが、原子力全般について、様々な話が聞けてよかった。	会場
意-52	日本のエネルギー問題を考えた場合、必要であると思うが、日本人の原子力に対するアレルギーが一番の課題なのでは・・・	会場
意-53	井上さん、組織として安全第一に行うとの事ですが、何の安全かな？人、原発？少し言葉足らずです。	会場
意-54	反対派の方の危険性はあまりにも極端すぎて住民にこだわり宣伝している。	会場
意-55	プルサーマル計画は、ある程度計画的に進んでいるが、再処理の停滞、バックエンド対策の遅れには歯がゆさを感じる。国による積極的な行動を強く望む。国の姿が見えてこない。	会場
意-56	原発は絶対安全ではない事を自覚しながら進めるべき。	会場
意-57	勉強になりました。	会場
意-58	何回か聞いて少しずつわかってきたようだ。	会場
意-59	プルサーマル自体は問題ないと思っています。発電所の安全に努力してください。	会場
意-60	しっかりと安全管理の下で積極的に推進していただきたい。長谷川先生の事例説明の中で、1号機の事象概要は「定検」と早口で一言言ったが「定期検査中で炉は止まっている」とはっきり明言しないと非常に危険な印象を受けた。	会場
意-61	計画どおり実施されることを望みます。	事前
意-62	計画通り進めて欲しい。	会場
意-63	早期導入を図ってほしい。	会場
意-64	安心安全な代替エネルギーの確立を希望してやまない！	会場
意-65	成功して欲しいと思います。	会場
意-66	特に問題はクリアです。3号機は計画通り進めるべきと思う。	会場
意-67	プルサーマル計画は安全上からも全く問題ない。速やかに実施すべき。	会場
意-68	東通も含め早期実現（営業運転）を期待します。	会場
意-69	日本の技術立国振りがわかったが、地震大国の日本は安全、安心の努力がいていると思っています。	会場
意-70	このような取り組みはとても良いことだと思うが、女川のトラブルをもっとしっかり警告してほしい。	会場
意-71	地元民の安全、安心に関する気持ちを、大槻先生、長谷川先生がうまく表現してくださった。電力会社の責務として、地元民のこの気持ちを十分汲み取り、業務を遂行して頂きたいと感じた。	会場
意-72	できるだけ自分なりの勉強は必要と認識してはいるが、なかなか出来かねています。これからも、よろしくお願いいたします。(全く話題提供にはなりません)	事前
意-73	今回初めて参加します。関心があったので、機会があったら一度は知識として知っておきたいとかねがね思っていました。是非参加させてください。	事前
意-74	今回初めて参加します。興味があるので是非話を聞いてみたいと思います。	事前